

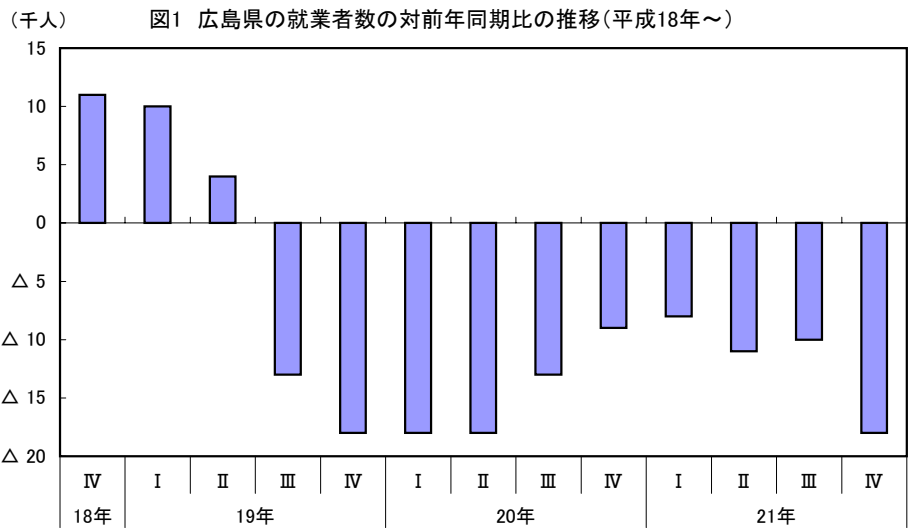
労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）
平成21年10月～12月期平均及び平成21年平均結果の概要（広島県）

〔平成22年3月4日
統計課〕

※ 総務省統計局が、平成18年度から労働力調査の都道府県別四半期平均結果（モデル推計値）を公表することになりました。
この結果の概要は、平成22年3月2日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。
次回の総務省統計局の公表（都道府県別結果平成22年1月～3月期平均）は、平成22年5月28日の予定です。

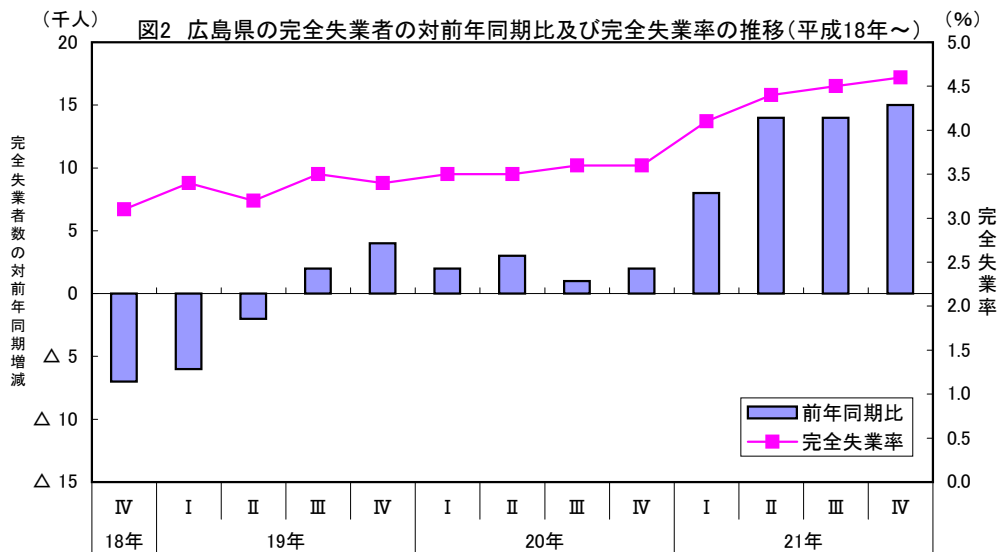
◇四半期平均（平成21年10月～平成21年12月）◇
[就業者]

・広島県の平成21年10月～12月期平均の就業者数は140万1千人と、前年同期（141万9千人）に比べ1万8千人（1.3%）減少した。10期連続の減少。



[完全失業者・完全失業率]

・広島県の完全失業者数は6万8千人と、前年同期（5万3千人）に比べ1万5千人（28.3%）の増加
・完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は4.6%と、前年同期（3.6%）に比べ1.0ポイント上昇した。都道府県別では低い方から23番目になる。

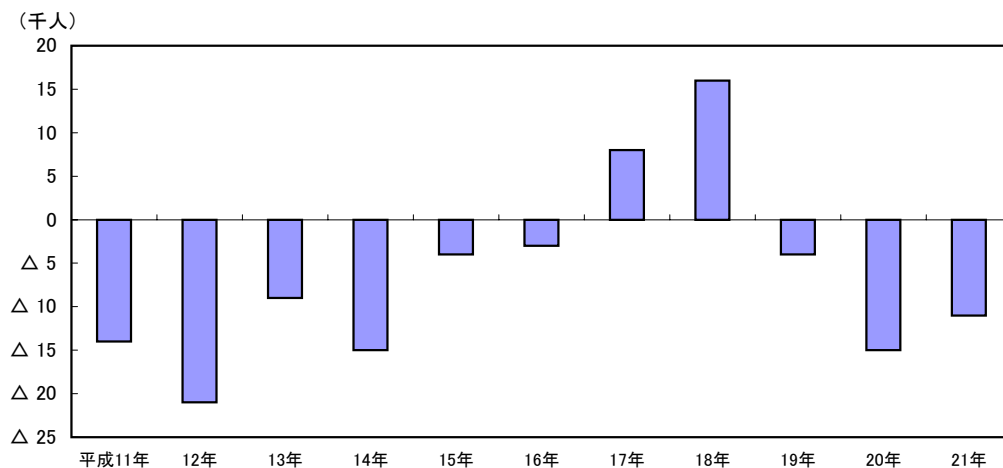


◇平成21年平均◇

[就業者]

- ・広島県の平成21年平均の就業者数は 140万2千人と、前年（141万3千人）に比べ1万1千人（0.8%）減少した。3年連続の減少。

図3 広島県の就業者数の対前年比の推移(平成11年～)



[完全失業者・完全失業率]

- ・広島県の完全失業者数は 6万5千人と、前年（5万1千人）に比べ1万4千人（27.5%）の増加。2年連続の増加。
- ・完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は4.4%で、前年（3.5%）に比べ0.9ポイント上昇した。都道府県別では低い方から18番目になる。

図2 広島県の完全失業者の対前年比及び完全失業率の推移(平成11年～)

